

## 平成26年度(2014) 1学期 Q13 授業改善についての 記述

「課題」「まとめ」「価値付け」を意識することで、授業が改善したと感じている

評価 5=1名・4=12名

- 授業の始めに「課題」を提示することによって、生徒は本時の授業内容の見通しを持つことができています。そのため、授業の展開を予測でき、取り組みがスムーズになり、授業が円滑に進む。「まとめ」があることで、生徒は「課題」に対する方策や答えを整理しやすくなっていると思う。(4)
- 課題が明確になり、計画的に授業が進められるようになった。ただ、「まとめ」は十分できているとは言えない。「まとめ」と「価値付け」の区別がはっきりせず、「価値付け」は全くできていない。(5)
- もともと課題は「めあて」として提示していましたが、まとめと正対させるという意識をもって、授業づくりを行うようになり、授業に筋が通ったように思います。また、過去の自分の授業ノートより、現在の課題—まとめラインのあるノートの方が後で見るとわかりやすいので、生徒にもわかりやすくなったのでは?と思います。(4)
- 生徒も教員も、この時間で何ができれば(わかれば)OKなんだ、という意識が持てるようになり、目的意識が以前よりはっきりするようになった。何となくであるが、生徒の吸収率が高くなったような気がする。ただ、中身(活動)は、あまり改善されたわけではない。きっと活動が充実することで、生徒は満足感、成就感、達成感が高まると思う。(従って次は、いかに充実した活動ができるか、という視点にシフトしていくのでは??)(4)
- この授業で、生徒に身につけて欲しい技術を絞り込み教えることができた。(4)
- 1つの授業の中で課題が解決されるように、内容が密な授業展開になったと思います。(今まで、1つの課題に対して、複数時間かけてやることが多く、“飽和状態”だったことに気づきました。)(4)
- 体育実技では掲示物を貼ったりすることが困難な時があるので、明確な活動内容を課題として提示することにより、自主的な活動が増え、次への課題が具体的に出てくるようなまとめを学習カードに書いてくる生徒がいた。(4)
- 生徒が「課題」を知ることで、今日の1時間で何をやるのかを、イメージしている様子を見ることができた。「まとめ」で絶対覚えさせたい内容を強調することで、覚えさせることができています。口で言うだけでなく、書くことに意味があると思いました。(4)
- 授業の最後に何が大切かを示すことで、全体のつながりを示せていると思う。常に要点をくり返し押さえさせる。(4)
- 毎時間、課題を提示することで、その時間で何を学ぶのかということを生徒に意識付けることができるようになった。(4)
- 課題を明確にすることで、生徒自身が1時間の目標がはっきりし、何をすべきか理解し、授業

に対する姿勢が前向きになった。(4)

- 課題を提示する(課題の提示の仕方を考える)ことによって、この1時間の中で教えることは何なのか(生徒に理解させなければならないことは何なのか)を強く意識して、授業づくりを心がけるようになった。(4)
- 課題の提示を意識して板書することができた。また授業のまとめとして、毎時間板書や生徒の発表などを利用して確認することができた。実験観察レポートの中に「課題」「活動」「まとめ」「価値付け」の項目を入れて、レポートを作成している。

## 平成26年度(2014) 2学期 Q13 授業改善についての 記述

「課題」「まとめ」「価値付け」を意識することで、授業が改善したと感じている

評価 5=0名・4=10名

- 「まとめ」をできるだけ、聞くようにした。
- 1学期よりも「まとめ」「価値付け」を意識して授業をしたが、「まとめ」をすると、子どもが復習をしやすいく。「価値付け」をすると、学習意欲がわくのが感じられた。
- 「課題」と「まとめ」を考えることで、授業に芯が通ると思います。今後はいかに活動を豊かにしていくかが、自身の課題です。
- 「まとめ」を最後に行うことで、次の授業の組み立て改善に生かせるようになりました。(これまで、進めることに精一杯でした。)
- この時間に何をつかめが良いかを意識的に話すよう心がけた。
- 課題を黒板にしっかり書き、生徒にも書かせることで、何をどうすればよいか、生徒の見通しがはっきりした授業が展開されるようになった。
- 「課題」というゴールを示すことで、生徒は1時間の中で、どこが大切で、どこが力を抜くことができるか、強弱のバランスが取れているように思います。結果、集中できるようになったと思います。
- 「課題」「まとめ」「価値付け」を意識した授業展開に努めた。実験や観察のまとめから身近な日常生活でふれる科学的事象について、現象や原理に結びつけて考えるように工夫した。
- どのように改善すればよいか、具体的な方法が見い出せない。
- 「課題」は毎時間提示できたが、毎時間必ず「まとめ」があるわけでもなく試行錯誤の毎日です。

## 平成27年度（2015） 1学期 Q13 授業改善についての 記述

「課題」「まとめ」「価値付け」を意識することで、授業が改善したと感じている

評価 5=1名・4=13名

- 課題を明確にすることにより、子どもたちが意識して活動を行う事ができ、それを振り返ることとで、次の活動につなげられた。また、価値付けをすることにより、より深く意識できた。  
(4)
- 課題を提示することで、生徒自身が何をすべきかをしっかりと理解することができるとともに、自分自身も1時間のゴールをイメージ（意識して）して、授業を進めることができた。  
(4)
- 生徒が本時の課題を意識して授業を受けるようになった気がします。(4)
- 1つの授業の中で、活動と確認のめりはりをつけて、実施できるようになったと思います。  
(4)
- 生徒が自分の学習で収穫できた知識を意識できるようになった。1レッスンで何が身についたのかが、明確になった。(5)
- 課題を必ず書くことで、生徒のノートが見やすくなっていると感じる。テスト勉強にも生かされているのではないか。(4)
- 実験、観察の課題について、レポートに明記するとともに、授業のはじめに確認して、スタートしている。(4)
- 目的意識を持って（生徒・教師とも）授業ができるようになった。(4)
- 課題が明確になることで、活動の目的がはっきりして、自主的な動きが多くなりました。目的がはっきりしたことより、技能向上につながり、まとめ（結果）に繋がった。(4)
- 課題とまとめを前もって準備することは、授業展開や流れも準備することになるので、良い準備をして、授業を行える。(4)
- 教科の特性もあり、「課題」については1時間の中だけでなく、数時間同じ内容にした。また、生徒の制作進度に差もあるため、複数の「課題」と「活動」内容を提示するようにした。現在とこれからの見通しを持たせるようにしたので、生徒の「何をどうすれば良いのか分からない」という混乱は減少した。「まとめ」や「価値付け」は、1時間の中で、できない部分もあり、制作途中や区切りに合わせて行っているため、評価を低くしてあります。(4)
- カードを活用し、生徒が理解できたか確認している。(4)
- 生徒が今日の1時間で何をやるのか分かっているのはとても良い。課題・まとめが複数ある授業が難しい。(4)
- 課題を必ず提示することで、生徒自身が目的を持って授業に参加するようになった気がする。授業者も同じ。(4)

## 平成26年度（2014） 1学期 Q13 授業改善についての 記述

「課題」「まとめ」「価値付け」を意識することで、授業が改善したと感じている

評価 3=5名・2・1=0名 どのようにすれば改善できるか

- プリントのタイトル名だけになっているため、プリントの中に課題「○○○○○」と書く欄をもうける。(3)
- 意識して実践すること(3)
- できる時とできない時がある。2年生の授業では制作工程等記入した授業カードを取り入れ、課題や目標を明確にできた。1,3年生も要点をまとめ板書を心がけ伝えてはいつるが、生徒自身が理解できていない部分が多いように感じた。全学年授業カードのように手元にある状況をつくり、意識して取り組めるようにしたい。(3)
- 教える内容や進め方を意識することに終始せず、教わる側にとってのスタートとゴールをはっきりと把握させることを最優先させる習慣をつけていかなければならないと思います。(3)

## 平成26年度（2014） 2学期 Q13 授業改善についての 記述

「課題」「まとめ」「価値付け」を意識することで、授業が改善したと感じている

評価 3=9名 2・1=0名 どのようにすれば改善できるか

- 1時限単位で、必ず「まとめ」「価値付け」があるとは限らないので、次時に続く時が多々あるので、その場合が課題である。それを改善すればよいと思う。
- もう少し授業のことを考えるゆとりがあると改善するのではと思います。
- 「価値付け」が難しい。自己評価カード記入に頼りがちになっている現状がある。次の授業へのつながりや、日常生活との関わりを意識して行っているが、そこが課題である。うまくできると生徒の意欲をもたせることができると思います。
- 「価値付け」への持っていく方が、まだ見出せていないので、なかなか授業内でも触れられないことが多い。
- 教材研究とワークシートの改善
- 「活動」の時間が確保されている分、「まとめ」の時間が少なくなってしまうので、指導内容の精選をし、活動がもっと充実する形にしたい。
- 毎回の授業で「まとめ」を行うと同時に、自己評価カードを書く時間をしっかり確保することによって「価値付け」がされて改善されると思う。

- 授業カードを使い改善されつつある。実技だと個人差・進度差もあるので、それにあわせて課題も設定していくよう心がけたが、まだ足りない。また、「まとめ」や「価値付け」が難しいので、状況によって変える場合がある。
- K4の視点をまず理解して柱をつくっていききたい。

## 平成27年度（2015） 1学期 Q13 授業改善についての 記述

「課題」「まとめ」「価値付け」を意識することで、授業が改善したと感じている

評価 3=5名 2・1=0名 どのようにすれば改善できるか

- 板書計画を1時間ごとにしっかり立てる。(3)
- 以前からやっている授業の流れなので、「価値付け」をもっと意識することにより変わるかなと思う(3)
- 意識はしているが、価値付けまで至っていない時が多い。もっといろんな先生の授業を見て、価値付けの良い例を学びたい。(3)
- 課題は提示できたが、まとめや価値付けをしっかりと意識して行う。(3)
- 製作時に進度が個々に異なるため、難しい点がある。基本的な「課題」は提示しているが、「まとめ」「価値付け」が今ひとつである。今後の研修や教科部会の中で、検討(提示できるように)。(3)